

スマートハウス in 福岡水素タウンが開所

当社、西部ガスエネルギー（株）および（株）へいせいは、福岡県、糸島市の協力のもと2011年11月7日に、福岡県糸島市に「スマートハウス in 福岡水素タウン」を開所した。当社製PEFC・LPG仕様エネファーム150台が集中設置されている世界最大の水素エネルギーモデル都市「福岡水素タウン」内に建築された本スマートハウスは、SOFC・LPG仕様エネファーム、屋根組込型太陽光発電システム、蓄電池システムを設置した最新の環境対応型モデルハウスである。

本スマートハウスでは当社が3電池（燃料電池・太陽電池・蓄電池）連係の実証実験を行うほか、一般にも施設内容を公開しており、SOFCエネファームなどの見学が可能である。また、停電時には、蓄電池・エネファームの自立運転で、照明や家電などが自動復旧するデモンストレーションを見学者が体感できる施設になっている。開所後、国内外より千名を超える見学者が本スマートハウスを訪れており、3電池に対する注目度は非常に高いと言える。当社が今年度販売予定であるリチウム製蓄電池システムの実証実験なども本スマートハウスで実施予定である。

(システムインテグレート推進事業部 SI事業3グループ 東條 敬之)



スマートハウス全景



SOFC・LPG仕様エネファーム



蓄電池